日本災害情報学会第 21 回学会大会







令和元年(2019年)10月19日(土)~20日(日)

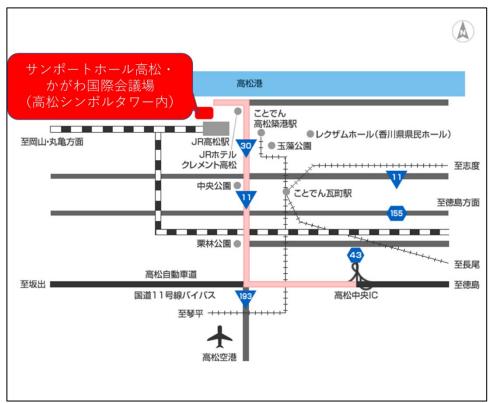
会場:サンポートホール高松・かがわ国際会議場(香川県高松市サンポート2-1)

受付開始	〔サンポートホール高松 第1小ホール ホワイエ〕
口頭発表(セッション1)	〔A·B·C会場〕
お昼休み	
ポスターセッション	〔ポスター会場〕
口頭発表(セッション2)	〔A·B·C会場〕
口頭発表(セッション3)	〔A·B·C会場〕
口頭発表(セッション4)	〔A·B·C会場〕
交流会	〔リーガホテルゼスト高松〕
受付開始	〔サンポートホール高松 第1小ホール ホワイエ〕
口頭発表(セッション5)	〔A·B·C会場〕
口頭発表(セッション6)	〔A·B·C会場〕
お昼休み	
総会	〔A会場〕
廣井賞授与式・記念講演等	〔A会場〕
	口頭発表 (セッション1) お昼休み ポスターセッション 口頭発表 (セッション2) 口頭発表 (セッション3) 口頭発表 (セッション4) 交流会 受付開始 口頭発表 (セッション5) 口頭発表 (セッション6) お昼休み 総会

*かならず教室を確認のうえ、ご参加ください。 *プログラムの詳細については次ページ以降をご覧ください。

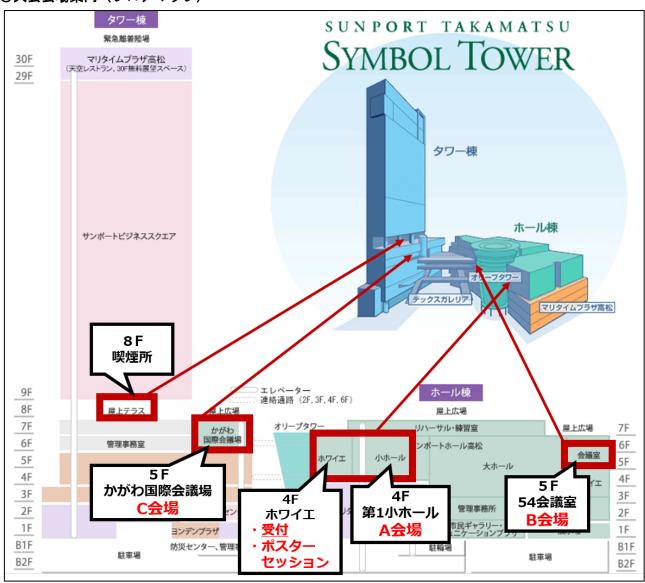
◎大会会場案内 (アクセスマップ)

会場 サンポートホール高松・かがわ国際会議場(香川県高松市サンポート2-1)





◎大会会場案内(フロアマップ)



*ご来場の際は、まず受付をお済ませください。

*会場内は禁煙です、喫煙の際はかならず喫煙所をご利用ください。

*会場内は飲食禁止です、ベンチ等をご利用ください。

◎発表会場など

〔大会参加受付〕サンポートホール高松第1小ホールホワイエ

〔 ロ 頭 発 表 〕 A会場:サンポートホール高松 第1小ホール

B会場:サンポートホール高松 54会議室

C会場:かがわ国際会議場

[ポ ス タ ー 発 表] ポスター会場:サンポートホール高松 第1小ホール ホワイエ

[懇 親 会] リーガホテルゼスト高松

[総 会] A会場:サンポートホール高松 第1小ホール

〔 廣井賞授与式・記念講演 〕 A会場:サンポートホール高松 第1小ホール

◎参加費など

	名誉・ 正会員	学生会員	賛助・ 購読会員	非会員(一般)	非会員(学生)
大会参加費(予稿集含)	4,000円	2,000円	4,000円	8,000円	4,000円
懇親会費	5,000円	3,000円	5,000円	5,000円	3,000円

◎注意事項

- ① 大会参加受付は、サンポートホール高松第 1 小ホールホワイエとなります。会場にお越しの際は、まず参加受付をお済ませのうえ、会場内に入るようお願いいたします。
- ② ロ頭発表セッション・ポスターセッションともに、発表される方は、発表に用いる PC や延長ケーブル類を各自でご持参ください。実行委員会では発表用 PC やケーブル類を用意しておりませんので、必要のある方はご持参いただくようお願いいたします。
- ③ ロ頭発表セッションは、各研究発表 15分(研究発表 12分、質疑応答 3分) および総括討論 10分から構成されています。大会の円滑な進行のため、発表される方は発表時間内に研究発表を終えるようお願いいたします。
- ④ 口頭発表は、発表開始から9分後・12分後(発表終了)・15分後(質疑応答終了)にそれぞれ予 鈴を鳴らしますので、目安としてください。
- ⑤ 口頭発表・ポスター発表ともに、skype 等の web を介した遠隔地からの発表を禁止しています。発表者は、かならず会場に来場のうえで発表を行うようにしてください。
- ⑥ ポスターセッションで発表される方は、まず大会参加受付を済ませ、「発表者リボン」を受け取ってから、12:30 までに、ポスター会場にてポスターの掲示を行ってください。掲示に必要な画 鋲・テープは大会実行委員会で用意します。なお、発表会場では机の利用はできません。
- ⑦ ポスターの掲示が可能な時間は、1 日目の 17:00 までとなります。時間までに、ご自身のポスターを撤去するようにしてください。また、大会実行委員会ではポスターの保管・処分をいたしませんので、撤去したポスターはかならずご自身で持ち帰ってください。
- ⑧ 学会大会で使用する(指定された)会場以外の教室・会議室等には、絶対に入室しないでくだい。
- ⑨ 今大会の会場では、保安上の観点等からごみ箱の設置数が非常に少なくなっております。発生したごみについては、各自でお持ち帰りいただくようにお願いします。
- ⑪ 会場内は、飲食厳禁となっています。会場内での飲食はなさらないようお願いします。各所に設置されているベンチ等では、飲食可能となっていますが、臭いの強いものなど周囲の迷惑となる飲食物はお控えください。
- ① 会場内は指定された喫煙所を除き、すべて禁煙となっています。喫煙をされる方は、会場見取り 図をご確認のうえ、かならず喫煙所を利用するようにお願いします。
- ① 当日の資料コピーにつきましては、最寄りのコンビニエンスストア等のコピー機を自費にてご利用ください。
- ③ タクシー、宿泊などの手配が必要な場合は、各自でお願いいたします。今大会では、近隣で大規模なイベント開催が予定されているため、宿泊についてはお早めに手配をお願いいたします。

④ 貴重品の管理は各自の責任に 会実行委員会では一切の責任	万が一、	盗難等の被害が発生して	こも、大

日本災害情報学会第21回学会大会 プログラム

2019年10月19日~20日 (サンポートホール高松・かがわ国際会議場)

タイムテーブル

1日目(10月19日 9:30開場 受付:サンポートホール高松 第1小ホール ホワイエ)

	サンポートホール高松 第1小ホール	サンポートホール高松 54会議室	かがわ国際会議場
	口頭発表 A 会場	口頭発表 B会場	口頭発表 C会場
セッション1	暴風雪・水害	地震・火山 I	災害対応・避難所運営 I
10:30-11:40			
	座長:須見徹太郎	座長:廣井悠	座長:牛山素行
昼休み			
11:40-12:30			
ポスター	ポスターセッション		
セッション	(ポスター会場 サンポートホール高松 第1小ホール ホワイエ)		
12:30-13:50	発表番号奇数者:在席責任時間12∶30-13∶10		
	発表番号偶数者:在席責任時間13∶10-13∶50		
セッション2	西日本豪雨·水害 I	地震・火山Ⅱ	防災教育・伝承Ⅱ
13:50-15:15			
	座長:入江さやか	座長:小林秀行	座長:児玉真
セッション3	西日本豪雨・水害Ⅱ		教育・継承 I
15:25-16:50		ケーション I 	
	座長:黒田洋司		座長:天野教義
セッション4	西日本豪雨・水害皿		教育・継承Ⅱ
17:00-18:10		ケーションⅡ 	
	座長: 及川康	座長:山口勝	座長:上村靖司
懇親会	懇親会		
18:45-20:15	(懇親会会場:リーガホテルゼスト高松)		

2日目(10月20日 9:30開場 受付:サンポートホール高松 第1小ホール ホワイエ)

	サンポートホール高松 第1小ホール	サンポートホール高松 54会議室	かがわ国際会議場
	口頭発表 A会場	口頭発表 B会場	口頭発表 C会場
セッション5	西日本豪雨・水害Ⅳ	歴史・文明論	教育・継承Ⅲ
10:00-11:10			
	座長:福島隆史	座長:武村雅之	座長:照本清峰
セッション6	災害対応・避難所運営 II	災害情報システム・衛星・	災害支援
11:20-12:30		ドローン 	
	座長:定池祐季	座長:湯瀬裕昭	座長:本間基寛
昼休み			
12:30-13:30			
総会	災害情報学会総会		
13:30-14:30			
廣井賞授与式:	廣井賞授与式·		
記念講演等	記念講演等		
14:40-16:00			

日本災害情報学会第 21 回学会大会 口頭発表目次

A会場 ■■ サンポートホール高松 第1小ホール ■■

1日目セッション1 10:30-11:40

A 1 暴風雪·水害(座長:須見徹太郎)

- A1-1 "ここにいてはダメです"のねらいと反響~江戸川区水害ハザードマップの事例~
 - ○細井教平(株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所) 片田敏孝(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授) 山口正幸(江戸川区 危機管理室 室長)
- A1-2 風水害における家屋被害と人的被害の関係の考察
 - 〇鶴 洵斗 (愛知工業大学 工学部土木工学科)

小穴久仁 (愛知工業大学 地域防災研究センター)

横田 崇(愛知工業大学 地域防災研究センター・工学部土木工学科)

- A1-3 暴風雪被害の軽減に向けた冬期 X バンド MP レーダ情報の活用に関する研究
 - 〇大宮 哲(土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

國分徹哉 (国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部)

松下拓樹 (土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

高橋丞二(土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

- A1-4 一回の暴風雪の厳しさを評価する指標の提案に向けて
 - 〇原田裕介(土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

大宮 哲(土木研究所 寒地土木研究所)

武知洋太(土木研究所 寒地土木研究所)

高橋丞二(土木研究所 寒地土木研究所)

1日目セッション2 13:50-15:15

A 2 西日本豪雨・水害 I (座長:入江さやか)

- A2-1 大雨に関する災害危険度認知と避難行動意向~西日本豪雨前後における住民意識の変化
 - 〇杉村晃一(静岡市総務局危機管理総室危機管理課)

牛山素行(静岡大学防災総合センター)

A2-2 平成30年7月豪雨災害をふまえた地区防災計画制度の発展的活用の提案

〇磯打千雅子(香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構) 津田由起子(ぶどうの家・まび)

野々村敦子 (香川大学創造工学部)

A2-3 平成30年7月豪雨による大規模浸水被害発生河川を対象とした防災気象情報、避難勧告等に 関する分析

〇大沼克弘 (金沢大学大学院)

A2-4 小学校における防災に関する連携授業-2018年豪雨災害後の取り組みとその成果-

〇林 武広 (比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科)

藤川義範(科学わくわくプロジェクト実行委員)

山内 真(公益財団法人マツダ財団)

A2-5 愛媛県における西日本豪雨に関するインターネット調査 〇入江さやか(NHK放送文化研究所 メディア研究部)

1日目セッション3 15:25-16:50 A3 西日本豪雨・水害Ⅱ(座長:黒田洋司)

A3-1 大規模水害時の孤立者救助に関する研究-水上バイクによる自発的救助の検証-

〇尾畑 功(国土交通省 庄内川河川事務所)

堀与志郎(国土交通省 木曽川上流河川事務所)

秀島栄三(名古屋工業大学大学院 教授)

野崎正人(ヤマハ発動機 マリン事業部)

河原健太郎 (建設技研インターナショナル)

A3-2 平成 30 年 7 月豪雨時の応援自治体における支援活動情報の共有例について

〇坂東 淳 (徳島県危機管理部危機管理政策課)

地面 浩 (徳島県危機管理部危機管理政策課)

中野真太郎(徳島県危機管理部危機管理政策課)

藤枝 大介 (徳島県保健福祉部保健福祉政策課)

A3-3 常総市における防災行政無線の戸別受信機導入に対する市民の態度—市民アンケートの結果から

〇河村和徳 (東北大学大学院情報科学研究科)

生井闘志 (常総市防災危機管理課)

A3-4 風水害犠牲者の傾向から見た「立退き避難」の難しさ

〇牛山素行 (静岡大学防災総合センター)

A3-5 平成30年7月豪雨災害時の創発的・即興的な組織対応-広島県と愛媛県の対応から-〇黒田洋司 (消防防災科学センター)

1日目セッション4 17:00-18:10

A 4 西日本豪雨·水害皿(座長:及川康)

A4-1 西日本豪雨における企業の対応 —実際にどの程度活動レベルを変えたのか—

〇安本真也(東京大学大学院学際情報学府 博士後期課程)

牛山素行(静岡大学防災総合センター)

片田敏孝(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

金井昌信 (群馬大学大学院理工学府)

越山健治(関西大学社会安全学部)

関谷直也(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

永松伸吾 (関西大学社会安全学部)

秦 康範(山梨大学大学院総合研究部)

廣井 悠(東京大学大学院工学系研究科)

矢守克也 (京都大学防災研究所)

A4-2 西日本豪雨における小中学校の対応 —実際にどの程度活動レベルを変えたのか—

〇金井昌信(群馬大学大学院理工学府)

牛山素行(静岡大学防災総合センター)

片田敏孝(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

越山健治(関西大学社会安全学部)

関谷直也(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

永松伸吾 (関西大学社会安全学部)

秦 康範(山梨大学大学院総合研究部)

廣井 悠(東京大学大学院工学系研究科)

矢守克也 (京都大学防災研究所)

A4-3 西日本豪雨における人々の反応 —実際にどの程度活動レベルを変えたのか—

〇越山健治 (関西大学社会安全学部)

牛山素行 (静岡大学防災総合センター)

片田敏孝(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

金井昌信 (群馬大学大学院理工学府)

関谷直也(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

永松伸吾 (関西大学社会安全学部)

秦 康範(山梨大学大学院総合研究部)

廣井 悠(東京大学大学院工学系研究科)

矢守克也 (京都大学防災研究所)

- A4-4 避難情報廃止論
 - 〇及川康 (東洋大学理工学部都市環境デザイン学科)

2日目セッション5 10:00-11:10

A 5 西日本豪雨·水害Ⅳ(座長:福島隆史)

A5-1 浸水及び工場爆発事故に対する要支援者の対応行動

〇荒木 裕子 (名古屋大学減災連携研究センター)

大津 暢人 (消防大学校消防研究センター)

北後 明彦 (神戸大学都市安全研究センター)

佐藤ゆかり (岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科)

Ana Maria CRUZ (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)

A5-2 大雨の防災情報のあり方と警戒レベルについての一考察

〇横田崇(愛知工業大学 地域防災研究センター・工学部土木工学科)

A5-3 過去事例から見た防災気象情報による警戒レベル・警戒レベル相当情報の運用

〇向井利明(名古屋地方気象台)

牛山素行(静岡大学防災総合センター)

A5-4 続・気象庁が伝えようとする危機感-緊急記者会見は住民の "スイッチ"になるかー 〇福島隆史 (TBSテレビ報道局)

2日目セッション6 11:20-12:30

A 6 災害対応·避難所運営Ⅱ(座長:定池祐季)

A6-1 住民の事情を考慮した災害対応の立案 —行動につながる災害対応の要件—

○野々山秀文(セコム株式会社 IS 研究所)

A6-2 企業防災の実態とその課題について

○落合鋭充(株式会社エーアイシステムサービス)

横田 崇 (愛知工業大学工学部土木工学科)

倉橋 奨 (愛知工業大学工学部土木工学科)

A6-3 社会福祉施設版避難所運営ゲームへの障害者の参加

〇北村弥生(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

- A6-4 「避難所運営マニュアル」の構成及び項目に関する研究—「避難所運営マニュアル」全国自治体郵 送調査より—
 - ○有吉 恭子(公益財団法人 人と防災未来センター)柴野 将行(吹田市)佐々木俊介(早稲田大学アジア太平洋研究センター)

B会場 ■■ サンポートホール高松 54会議室 ■■

1日目セッション1 10:30-11:40

B1 地震・火山 I (座長:廣井悠)

- B1-1 自治体の火山担当者の育成及び火山災害経験者の活用
 - ○南沢 修(長野県 木曽建設事務所)秦 康範(山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター)
- B1-2 グローバルデータに基づく火山噴火の発生頻度-活動推移の判断情報の指標として-〇西村太志(東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻)
- B1-3 「平成30年北海道胆振東部地震」における住民の対応と情報・報道の評価-アンケート調査 からの考察-
 - ○中森広道(日本大学文理学部社会学科)中村 功(東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科)
- B1-4 多様な情報から被害量を即時予測する手法の提案
 - 〇廣井 悠(東京大学)

細川直史(総務省消防庁研究センター)

鹿島真弓(ESRI ジャパン)

1日目セッション2 13:50-15:15

B2 地震·火山Ⅱ(座長:小林秀行)

B2-1 自主防災組織による「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」への対応に関するワークショップ 〇井若和久(徳島大学人と地域共創センター)

浜大吾郎 (美波町役場由岐支所)

山中英生(徳島大学大学院社会産業理工学研究部)

B2-2 大規模地震発生後の規範の経時変化に関する基礎的考察—生活復旧と経済復旧の両立に向けて— 〇松原 悠(京都大学大学院 情報学研究科社会情報学専攻)

矢守克也 (京都大学防災研究所)

中野元太(京都大学防災研究所)

B2-3 災害時の生活支障への評価と対応 - 北海道胆振東部地震・札幌市民アンケートから- 〇岩崎雅宏 (サーベイリサーチセンター)

佐藤翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)

- B2-4 地方紙における被災地報道の変化 -北海道胆振東部地震に関する北海道新聞の報道から-〇定池祐季(東北大学災害科学国際研究所)
- B2-5 イタリア中部地震における市民社会保障の展開 〇小林秀行(明治大学情報コミュニケーション学部)

佐藤慶一(専修大学ネットワーク情報学部)

1日目セッション3 15:25-16:50

B3 メディア・AI・コミュニケーションI(座長:秦康範)

- B3-1 災害報道における科学サイエンスのプレゼンス 「クローズアップ現代+」の内容分析-
 - 〇徐 浩展(関西大学大学院 社会安全研究科修士課程2年)

近藤誠司 (関西大学准教授 安全マネジメント学科)

- B3-2 災害時ツイートの注目地域と内容の可視化
 - 〇山田実俊(東海大学情報技術センター)

宇津圭祐(東海大学情報通信学部)

内田 理(東海大学情報理工学部)

長 幸平 (東海大学情報理工学部)

- B3-3 災害時の SNS への投稿及び拡散に対する行動意図を予測する諸要因一普段の SNS の利用状況との 関連-
 - 〇田島祥 (東海大学 現代教養センター)
- B3-4 災害対策訓練評価のための客観的会話分析
 - ○茅野宏紀(立命館大学大学院 情報理工学研究科)

河合俊樹(立命館大学大学院 情報理工学研究科)

下戸 学(京都大学医学部附属病院)

杉山 治 (京都大学医学部附属病院)

大鶴 繁 (京都大学医学部附属病院)

松村耕平(立命館大学大学院 情報理工学研究科)

野間春生(立命館大学大学院 情報理工学研究科)

B3-5 リアルタイム災害連関図を作成する方法の検討-新聞記事を用いた因果データベースの拡充-

〇坂平文博(構造計画研究所 IoE ビジネス推進部)

廣井 悠(東京大学工学系研究科都市工学専攻)

1日目セッション4 17:00-18:10

B4 メディア・AI・コミュニケーションⅡ(座長:山口勝)

B4-1 災害情報共有 LINE BOT アプリケーション「さいれぽ BOT」

○内田 理(東海大学情報理工学部情報科学科)小杉将史(ヤフー株式会社)

B4-2 災害時の情報収集の手法-2017年調査と 2019年調査の比較-

〇水野 一成 (NTT ドコモ モバイル社会研究所)

佐々木純一 (NTT ドコモ モバイル社会研究所)

吉良 文夫 (NTT ドコモ モバイル社会研究所)

B4-3 AI を用いた危険度学習システムの提案 —画像認識システムを用いた危険度分類器の構築—

〇吉岡由希子(目白大学社会学部社会情報学科)

新井 正一(目白大学社会学部社会情報学科)

小川真里江(目白大学客員研究員)

B4-4 8K 防災活用 AIによる"人"検出の試み

〇山口勝 (NHK 放送文化研究所メディア研究部)

2日目セッション5 10:00-11:10

B5 歴史·文明論(座長:武村雅之)

B5-1 浸透型減災システムの不気味と希望 — 減災社会はどこへ向かうのか

〇高原耕平(人と防災未来センター研究部)

B5-2 三井大坂両替店「聞書」に記録された近世後期の災害

〇長島雄毅(愛知工業大学 地域防災研究センター)

横田 崇 (愛知工業大学 地域防災研究センター)

- B5-3 香川県の土砂災害の歴史 〇今村降正(株式会社 防災地理調査)
- B5-4 「波除碑」から考える「文明と防災」の問題 〇武村雅之(名古屋大学減災連携研究センター)

2日目セッション6 11:20-12:30

B6 災害情報システム・衛星・ドローン(座長:湯瀬裕昭)

B6-1 パワードパラグライダーでの空撮 〇西村博夫(空撮ジャパン)

B6-2 災害観測、情報収集・共有を可能にする地域特化型災害情報システム 〇中田成智(徳島大学大学院社会産業理工学部社会基盤デザインコース) 三上 卓((株)エイト日本技術開発 災害リスク研究センター)

B6-3 消防活動内容に即した無人航空機の訓練方法の必要性

樫原 茂(奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科)

辻本佳史 (株式会社ファーストパーソン)

山本篤史(高知市消防局)

〇辻井高浩(奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科)

荒木武彦(株式会社ファーストパーソン)

柏木義彦(株式会社ファーストパーソン)

- B6-4 LPWA と衛星インターネットを組み合わせた防災行政無線情報発信のための実証実験
 - 〇湯瀬裕昭(静岡県立大学経営情報学部経営情報学科)

菅原巧貴 (テクノサイト)

中川泰典(テクノサイト)

小野晶規(島田市役所)

C会場 ■■ かがわ国際会議場 ■■

1日目セッション1 10:30-11:40

C 1 災害対応・避難所運営 I (座長:牛山素行)

C1-1 住民・行政・学校・専門家の協働による 避難所運営マニュアル作成に関する実践的研究 〇河田 慈人(人と防災未来センター) 竹之内健介(京都大学防災研究所) 矢守 克也(京都大学防災研究所)

- C1-2 都道府県による人的被害情報の収集状況について(第2報)
 - 〇石塚隆之(千葉県 県土整備部) 牛山素行(静岡大学 防災総合センター)
- C1-3 都市部宗教施設の災害対応力と防災対策協力意向およびその地域偏在構造 ——「東京都宗教施設調査」に基づき——
 - 〇沈 一擎(大阪大学大学院人間科学研究科) 稲場圭信(大阪大学人間科学研究科)
- C1-4 災害リスクの低い居住を促進する施策の定量的比較分析
 - 〇久保田映希(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 修士課程) 廣井 悠(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授)

1日目セッション2 13:50-15:15

- C2 防災教育·伝承 I (座長:児玉真)
- 02-1 防災講演会の内容分析とその効果に関する研究
 - ○田宮子良(国土交通省九州地方整備局立野ダム工事事務所)廣井 悠(東京大学大学院工学系研究科)加藤孝明(東京大学生産技術研究所)
- C2-2 国士舘大学における防災教育の現状と今後の展望
 - 〇月ヶ瀬恭子(国士舘大学 防災・救急救助総合研究所)山崎 登(国士舘大学 防災・救急救助総合研究所)
- C2-3 学校防災マニュアル作成の現状と課題 〇新垣愛(日本大学第三中学校・高等学校)
- C2-4 遠方の語り部との交流 (方法編):本会場を場とした神戸 (日本) とパル (インドネシア) の語り部の遠隔地講演
 - ○佐々木俊介(早稲田大学アジア太平洋研究センター) 河田 慈人(人と防災未来センター)
- C2-5 水災害意識社会の再構築に向けた取組方針に基づく水防災教育の推進に係る一考察 〇児玉 真(株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所)

小島彰吾 (株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所) 片田敏孝 (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

1日目セッション3 15:25-16:50

C3 防災教育·伝承Ⅱ(座長:天野教義)

- C3-1 災害報道従事者の対応力向上策の検討 ~ 「災害報道版クロスロード」の試行~
 - ○董 夢然 (関西大学大学院 社会安全研究科修士課程2年) 近藤誠司 (関西大学准教授 社会安全学部安全マネジメント学科)
- C3-2 東日本大震災アーカイブの活用実態と促進要因 ー岩手県・宮城県・福島県の実態調査ー ○池田真幸(防災科学技術研究所 災害過程研究部門) 佐藤翔輔(東北大学災害科学国際研究所)
- C3-3 CATVを通した防災力向上キャンペーン 京丹波町におけるアクション・リサーチ 〇趙 鎭杓(関西大学大学院 社会安全研究科修士課程1年) 尾山諒太(関西大学大学院 社会安全研究科修士課程1年) 近藤誠司(関西大学社会安全学部准教授 安全マネジメント学科) 西村公貴(京丹波町企画政策課情報推進室主任)
- C3-4 "身近なお手本"がもたらす防災行動の促進効果 京丹波町 CATV:「安心ほっとさん」の 影響分析 —
 - 〇近藤誠司 (関西大学社会安全学部准教授 安全マネジメント学科)

押井菜摘 (関西大学大学院 社会安全研究科)

西村公貴 (京丹波町企画政策課情報推進室主任)

趙 鎭杓(関西大学大学院 社会安全研究科)

- C3-5 小学校低学年の防災学習に「てんでんこのうた」を ○天野教義(TBS テレビ報道局)
- 1日目セッション4 17:00-18:10
- C 4 防災教育·伝承Ⅲ(座長:上村靖司)
- C4-1 研究機関とメディア連携による防災教育推進モデルの開発と実践 ○大山武人(NHK大津放送局放送部) 里深好文(立命館大学理工学部)
- C4-2 学校防災マニュアルの効果的な管理方法と教育委員会ぐるみの組織的取組みの課題-学校防災

アンケートよりー

○五島朋子(東京大学地震研究所) 矢崎良明(学校安全教育研究所) 石辺岳男(地震予知総合研究振興会)

- C4-3 防災教育における「自然の2面性を知る」の心理学的再考とその効果の考察 〇小島彰吾(株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所)
- C4-4 防災活動における主体性獲得プロセスに関する考察 〇上村靖司(長岡技術科学大学 機械創造工学専攻)

2日目セッション5 10:00-11:10

C5 津波(座長:照本清峰)

- C5-1 観光復興における "アニメの聖地巡礼" 効果分析 ~ 茨城県大洗町「ガルパン」の事例から 〇清水洋希 (関西大学 社会安全学部安全マネジメント学科) 近藤誠司 (関西大学准教授 社会安全学部安全マネジメント学科)
- C5-2 津波避難アナウンスメントのありかたに関する考察 —情報の受信者を対象とした調査から— 〇福本晋悟(毎日放送 アナウンサー室アナウンス部) 近藤誠司(関西大学准教授 社会安全学部安全マネジメント学科)
- C5-3 南海トラフ地震における医療介護施設の避難困難入床者の避難および移送 〇岡垣篤彦(独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター) 定光大海(医療法人恵泉会 堺平成会病院)
- C5-4 海溝型地震発生後の津波避難行動に関する観光客の認識 ○照本清峰(関西学院大学総合政策学部都市政策学科)

2日目セッション6 11:20-12:30

C6 外国人·要配慮者(座長:本間基寬)

- C6-1 マルチエージェントシミュレーションモデルを用いた外国人居住者の災害情報伝達分析 〇杉木 直 (豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系) Tan Yen Xin (日本工営株式会社 コンサルタント海外事業本部) 松尾幸二郎 (豊橋技術科学大学 建築都市システム学系)
- C6-2 災害時における訪日外国人の情報認知と行動 ~4つの自主調査からみえたこと~

〇石川 俊之 (株式会社サーベイリサーチセンター) 岩崎 雅宏 (株式会社サーベイリサーチセンター) 藁谷峻太郎 (株式会社サーベイリサーチセンター)

- C6-3 要配慮者に対する訓練参加促進の方策についての考察
 - ○杉山高志 (京都大学大学院・情報学研究科) 矢守克也 (京都大学・防災研究所)
- C6-4 要配慮者利用施設を対象とした避難確保計画支援ツールの開発と実証実験
 - 〇本間 基寛 (日本気象協会防災ソリューション事業部)

山下 啓一 (日本気象協会)

青沼 和彦 (日本気象協会)

戸谷 洋介 (日本気象協会)

諸原慎之介 (日本気象協会)

リン ビンシン(日本気象協会)

廣木 真一 (エヴァーグリーン)

宮間 杏香 (エヴァーグリーン)

金子 光夫 (建設技術研究所)

日本災害情報学会第 21 回学会大会 ポスター発表目次

ポスターセッション 1日目 12:30-13:50

■■ポスター会場 サンポートホール高松 第1小ホール ホワイエ■■

発表番号奇数:在席責任時間 12:30-13:10 発表番号偶数:在席責任時間 13:10-13:50

- P-01 スマートスピーカを用いた地域防災情報伝達の試み
 - 〇森山聡之(福岡工業大学社会環境学部社会環境学科) 鈴木康之(静岡大学学術院工学領域)
- P-02 学校防災マニュアルの効果的な管理方法と教育委員会ぐるみの組織的取組みの課題 学校防災 アンケート結果まとめ -
 - 〇五島朋子 (東京大学地震研究所)

矢崎良明 (学校安全教育研究所)

石辺岳男 (地震予知総合研究振興会)

- P-03 高校生を対象とした地震をテーマとする防災教育の効果-潜在的指標に注目して-
 - 〇林 慎吾(東北大学大学院情報科学研究科博士課程後期)

邑本俊亮 (東北大学災害科学国際研究所)

- P-04 北海道胆振東部地震におけるネット流言: 胆振地方及び札幌市におけるアンケート調査をもとに
 - 〇中村 功(東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科)

中森広道 (日本大学文理学部)

- P-05 地上雨量計データを用いた広域かつ多地点における降雪情報把握に向けた試み
 - 〇大宮 哲(土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

原田裕介(土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

高橋丞二 (土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

- P-06 災害対策本部の組織体制における本部事務局の位置づけと組織構成に関する分析ー中核市 58 市を対象として一
 - 〇首藤 広樹 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)

馬場美智子(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)

- P-07 災害廃棄物の排出に関する広報と住民の認知について 一平成30年7月豪雨災害被災者 アンケートから一
 - 〇森嶋順子(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)

多島 良(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)

高田光康(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)

- P-08 大規模水害から逃げ遅れゼロを目指すための大田区のマイ・タイムライン取り組み事例の紹介
 - 〇有友春樹 (河川情報センター流域情報事業部)

伊藤 剛 (東京都大田区総務部防災危機管理課)

水上雄介(東京都大田区総務部防災危機管理課)

太田敏之(国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所)

鈴木雅史 (国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所)

向井正大(河川情報センター流域情報事業部)

森野香織(河川情報センター流域情報事業部)

鮎川一史(河川情報センター流域情報事業部)

原田一平(河川情報センター流域情報事業部)

- P-09 学校現場で利用しやすい防災学習教材の作成について
 - 〇竹内 慎也 (日本赤十字社 愛知県支部 青少年赤十字課(現 名古屋市立新郊中学校))

内田 幹也 (日本赤十字社 愛知県支部 青少年赤十字課)

辻ノ上実友希 (日本赤十字社 愛知県支部 青少年赤十字課)

五味 孝夫 (気象庁 名古屋地方気象台)

原 浩司 (気象庁 名古屋地方気象台)

髙須 圭織 (気象庁 名古屋地方気象台)

横田 崇 (愛知工業大学 地域防災研究センター)

- P-10 浸水到達時間に応じた迅速な避難対応を促すための行動指南型ハザードマップの検討
 - 〇細井教平 (株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所)

片田敏孝(東京大学情報学環総合防災情報研究センター)

- P-11 南海トラフ地震に対する産業基盤の強靭化を目的とした重要道路の抽出に関する試み(その1)
 - 〇橋冨彰吾 (名古屋大学減災連携研究センター)

倉田和己(名古屋大学減災連携研究センター)

千葉啓広 (名古屋大学減災連携研究センター)

新井伸夫(名古屋大学減災連携研究センター)

都築充雄(名古屋大学減災連携研究センター)

浦谷裕明 (中部電力株式会社)

- P-12 児童生徒を対象とした防災に関する体験型学習の教育効果と計測手法の検討
 - 〇多賀谷真優 (群馬大学環境創生理工学教育プログラム)

金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府広域首都圏防災研究センター)

P-13 被災懸念バイアスの醸成によるソフト防災の有効化 - 『減災カルテ・処方箋』による試み-

〇有馬 昌宏 (兵庫県立大学)

田中健一郎 (兵庫県企画県民部科学情報局)

川向 肇(兵庫県立大学応用情報科学研究科)

- P-14 中学生・高校生向け防災研修に伴う参加生徒の行動・意識変容に関する研究
 - 〇平川達也 (関西大学大学院社会安全研究科)

越山健治(関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科)

- P-15 遠方の語り部との交流(実演編):本会場を場とした神戸(日本)とパル(インドネシア)の語り部の遠隔地講演
 - 〇佐々木俊介(早稲田大学アジア太平洋研究センター) 河田 慈人(人と防災未来センター)
- P-16 平成30年大阪府北部の地震と台風21号被害での大阪府社会福祉協議会の災害情報利用と連携・ 支援体制の考察
 - 〇水井良暢 (防災科学技術研究所防災情報研究部門)

李 泰榮 (防災科学技術研究所災害過程研究部門)

池田真幸 (防災科学技術研究所災害過程研究部門)

- P-17 南海トラフ地震に対する産業基盤の強靭化を目的とした重要道路の抽出に関する試み(その2)
 - 〇千葉啓広 (名古屋大学減災連携研究センター)

倉田和己(名古屋大学減災連携研究センター)

橋冨彰吾 (名古屋大学減災連携研究センター)

新井伸夫(名古屋大学減災連携研究センター)

都築充雄(名古屋大学減災連携研究センター)

浦谷裕明 (中部電力)

- P-18 2018 年 1 月の草津白根(本白根)山の噴火における緊急時の災害情報伝達に関する予備的考察 〇地引泰人(東北大学大学院理学研究科次世代火山研究者育成プログラム)
- P-19 ARIA: シミュレーション・エミュレーション連携による都市型水害の漸進的被害推定システム 〇廣井 慧(名古屋大学大学院工学研究科情報・通信工学専攻)

井上朋哉 (情報通信研究機構北陸 StarBED 技術センター)

明石邦夫(情報通信研究機構北陸 StarBED 技術センター)

湯村 翼 (情報通信研究機構北陸 StarBED 技術センター)

宮地利幸(情報通信研究機構北陸 StarBED 技術センター)

篠田陽一(北陸先端科学技術大学院大学)

- P-20 平成 30 年大阪北部地震発生時における通勤規範意識に影響をおよぼす要因の検討
 - 〇浦山 郁(関西大学大学院 社会安全研究科)

中川由理(京都橘大学 健康科学部心理学科)

- P-21 高知県土佐清水市立清水中学校関係者における南海トラフ巨大地震のリアリティ
 - 〇川崎彩奈(慶應義塾大学 環境情報学部)

薄井 慧 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科)

永松冬青(慶應義塾大学 SFC 研究所)

大木聖子(慶應義塾大学 環境情報学部)

- P-22 災害ボランティアセンターにおける地理情報システム(GIS)の実践活用報告
 - 〇上村貴広(災害情報支援ポータル)
- P-23 平成30年7月豪雨災害における倉敷市の応急業務に対する人的支援スキームの支援日数に関する 考察
 - 〇新谷 歳三(兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)

馬場美智子(兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)

- P-24 市区町村別の浸水想定区域内人口の推計
 - ○秦康範(山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター 准教授)
- P-25 東北沿岸自治体の津波ハザードマップ等のデザインがまちまちな現状と課題
 - 〇須藤宣毅 (河北新報社防災·教育室)
- P-26 平成23年および平成28年「全国在宅障害児者実態調査(生活のしづらさ等に関する調査)」の回答における災害・地震への不安と対策案
 - ○北村弥生(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)